



明日香・聖徳通信

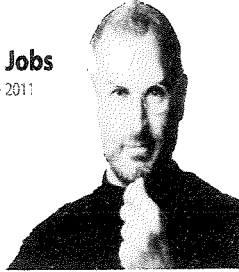


令和4年11月24日発行 校長 角田 哲典 第7号

《児童・生徒のみなさんへ》

“インターネットやパソコンは、知識や情報を伝えることに偏っている。私はパソコンを人間性溢れる存在にし、人々が自分の感情を、より豊かに表現する手伝いをしたい。”

Steve Jobs
1955 - 2011



スティーブ・ジョブズは、世界的に有名な大企業「Apple」を創業した実業家です。MacやiPod、iPhone、iPadなど、素晴らしいデバイス（情報端末や周辺機器）を世の中に生み出した人です。皆様のご家族の中にも、またみなさん自身の中にも、これらのデバイスを使っている人がいるかもしれませんね。先生のスマホもiPhoneです。スタイリッシュで、洗練されたデザインです。そのiPhoneの生みの親、スティーブ・ジョブズが「スティーブ・ジョブズ」という映画の中で、上の言葉を残しています。

「インターネットやパソコンは、知識や情報を伝えることに偏っている。」・・・つまり、“考える”ことは得意ではないのですよね。「私はパソコンを人間性溢れる存在にし」・・・人と人がつながり、新しいものを作り出すためにパソコンを使う、ということでしょうか。「人々が自分の感情を、より豊かに表現する手伝いをしたい。」・・・『人との交流と共有から自分の思いや考えを発信していく』ということでしょうか。

今、身の回りにあるこの便利なパソコンは、こんな気持ちから生まれたものなのです。

そして、パソコンは、私たちの生活をとても便利にしてくれています。コロナ禍でもリモートワークが可能となりました。休校中やお休みの日にもリモートで授業を受けることができます。調べたいことや新しい情報が瞬時に手に入ります。これによって学習の効率がぐ～んと上がりました。みなさんの学習スタイルは、先生たちが中学生の頃とは全く違ってきます。

ところで、みなさんのパソコン（クロムブック）の使い方は、このジョブ氏の思いに合っていますか？得た情報から『自分で考え』、『人と交流、共有し』、『新しいものを作り出し』、『発信する』ことができますか。

ゲームや動画投稿サイトをみることに、時間の多くを費やしてはいませんか？

寝る時間が遅くなり、時間の使い方がルーズになってはいませんか？

パソコンやスマホ、タブレットは、とても便利なものですし、おもしろそうな情報であふれていますが、自分で時間を区切るなど、ルールを作り、守らないと、「時間泥棒」の道具になってしまいます。

学校から貸与しているタブレットは、課題をしたり、授業を受けたりする際になくてはならないものです。「使い方が良くないから」と取り上げることはしたくはありませんが、ルールを守れず、「時間泥棒」の道具になってしまっていたら、残念ですが、何からの制限をかけざるを得ないかも知れません。 今一度、自分の使い方を見直してみましょう。



《 保護者の皆様へ 》

日頃より、本校教育活動に、ご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。先週の金曜日に、「明日香村幼小中一貫教育 第3回実践発表会」を実施しました。参観に来られた多くの教育関係者の方々に、明日香村の子どもたちの学びを紹介することができました。また、小中学校PTA役員の皆様には受付・駐車場案内等大変お世話になり、おかげで研究大会がスムーズに運営することができました。本当にありがとうございました。

先日、本校の教職員が、保護者の方と話をする中で、「子どもがクロムブックで動画投稿サイトをみている時間が長い・・・。どうしたものか？」との相談がありました。

子どもたちは、誰に教わるわけでもなく、サクサクとサイトをたどり、自分が必要とする情報にたどり着いています。生まれたときからデジタル社会だとは、こういうことなのでしょう。

確かに、デジタルは、使い方によって、良い効果も、悪い影響ももたらします。

子どもたちがクロムブックで何をやっているのかを知ろうとする前から、画面を長時間見ることが悪いみたいな文化ができてしまうのは、GIGA端末の活用の中でも、すぐもったいないと思っています。学校から、先生たちが子どもたちに課題を出すことによって、家庭で端末を使わざるを得ない状況が発生しますが、それは「家庭で自由に使っていい」というわけではありません。学びのために使うという意識を持たせるためにも、宿題や課題に活用し、使えるようになるまでの家庭でのルールは必要だと思っています。そうした積み重ねが「クロムブックは遊びじゃなく、学ぶために使うもの」という認識になり、さらに自分の知識が増えた実感が伴ってくると何かが変わるような気がします。

引き続き、学校でも使い方を指導してまいります。ご家庭でも、動画投稿サイトをずっと見続けるようなことが起きないように、使い方をお話していただけたら、と思います。

子どもたちを取り巻く環境も、学び方も、めまぐるしく変化しています。私たち親世代が中学生だった頃には、想像もできなかったものです。トラブルの形態も変わってきています。だからこそ、めまぐるしい変化に、子どもたちが飲み込まれないように、形をかえたトラブルに、子どもたちが巻き込まれないように、周りの大人がアンテナをはって子どもたちを見守っていかねばならない時代だと思えます。

大変ですが、子どもたちの成長をいっしょにサポートできれば、と教職員は思っています。

今後とも、よろしくお願いします。

